

音楽科学習指導案

令和7年 月 日 ()

中学1年 組 名

1 題材名 魔王はなぜ人々を惹きつけるのだろう

2 題材の目標

- (1) 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。
- (2) 「魔王」の旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- (3) 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、歌曲に親しむ。

3 教材 魔王 シューベルト作曲

4 題材について

(1) 生徒の実態

活発な生徒が多く、歌唱の授業では一人一人がしっかり声を出し積極的に授業に取り組んでいる。1学期の歌唱では「夢の世界を」を歌い、伴奏や歌の旋律の特徴から曲想の変化を理解し、その変化を生かして歌おうとする姿が見られた。また、ヴィヴァルディ「春」の第一楽章を鑑賞し、同じ旋律が繰り返されていることや、弾んだリズムが明るい感じを表していることなどに気づき、自分の言葉でワークシートに感じたことを書いた生徒もいた。感じたことを言葉で表現することが難しい生徒には、「どんな感じがした？」と問い掛け、やりとりをする中で「こんな感じ」と自分の言葉で伝えることができている。しかし、音楽を集中して聴くことや作曲者の気持ちを考えることが難しいと感じている生徒もおり、楽曲のよさや美しさを味わうまでには至っていない。また、音楽を聴いて感じたことは伝えられるが、音楽を形づくっている要素と結び付けてその根拠を述べるまでには至っていない。

(2) 教材について

「魔王」は、オーストリア出身のシューベルトがゲーテの詩に曲をつけたものである。シューベルトは31歳という短い生涯で様々なジャンルの曲を残し、とくにドイツ語の歌曲であるリートでは600曲以上もの作品を残したことから、歌曲王などと呼ばれる。「魔王」の詩には語り手、父、子、魔王の4人が登場し、独唱とピアノで演奏される。魔王が子をさらおうと優しく語りかけ、子は父に助けを求めるが父には魔王が見えていない。子は曲中に4回登場し、助けを求める子の旋律はどんどん高くなっていく。曲全体は短調で、暗闇の中の情景を思い浮かべるが、魔王が登場する部分は長調であり、優しく見せかけて

いることを表している。しかし魔王の最後の旋律では急に下行したり短調になったりして本性を現す。一人で4役を使い分ける歌手の力量や、物語のおもしろさ、登場人物の心情を音楽でどのように表しているかなど、聴きどころがたくさんある楽曲となっている。また、歌だけではなくピアノも重要な役割を果たしている。楽曲冒頭の三連符が続くところは迫力があり、一度聴くと耳に残る仕掛けがされている。この三連符は馬が疾走する様子を表し、これから何が始まるのか緊迫した雰囲気を感じる。シューベルトが活躍した時代にはたくさんのリートがつくられたが、当時はあくまで伴奏という考えだったのに対し、シューベルトが作曲した「魔王」ではピアノの役割も重んじられ、まさに歌手と伴奏が一体となって楽曲をつくり上げた曲である。

(3) 指導に当たって

この曲を聴いて気付いたことや感じたことをもとに、場面を想像させる。一人で4役を歌い分けていることを確認し、登場人物の心情がどのように音楽を形づくっている要素と結び付いて表されているか考えさせていきたい。また、登場人物以外にもピアノ伴奏の特徴も捉え、楽曲の雰囲気を味わわせながら鑑賞させたい。登場人物の心情を理解するためにグループごとにロールプレイを行い、状況整理をしていく。子と魔王の旋律や強弱の変化に着目し、登場人物の心情が音楽でどのように表されているか考え、楽曲への理解を深めさせていく。曲に込められた思いを感じ取ることにより、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わうことができることを願い、本題材を設定した。

5 本題材で扱う学習指導要領の内容

第1学年 B 鑑賞

ア (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

イ (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。

[共通事項] (1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」「強弱」)

6 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	思 「魔王」の旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取しながら、知覚したことと感受したこととの関わりに	態 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとし

	ついで考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	ている。
--	---	------

7 指導と評価の計画（本時 2 / 3 時間目）

時	◎ねらい ●学習内容 ・学習活動	評価（◆評価方法）		
		知・技	思	態
1	◎場面を想像しながら「魔王」を聴き、楽曲について知る。 ●楽曲を聴き、どのような場面を思い浮かべるか考える。 ・詩を読んで、内容を理解する。 ・グループでロールプレイをし、登場人物の心情を感じ取る。 ●楽曲について理解する。 ・登場人物や演奏形態、作曲者について知る。	↓	↓	↓
2 (本時)	◎登場人物の心情の変化と音楽の特徴を関連付けて鑑賞する。 ●登場人物の心情を整理し、音楽の特徴との関わりを捉える。 ・子と魔王の旋律、強弱に着目して鑑賞し、音楽を形づくる要素と絡めてワークシートに気付いたことや感じたことを記入する。 ・登場人物の心情と音楽の特徴を関連付けて、グループで話し合い、タブレット端末を用いて何度も聴くことができるようにする。 ・グループでまとめた意見を発表する。	◆ ワークシート 知	◆ 観察 ↓	↓
3	◎楽曲の特徴を理解し、味わって鑑賞する。 ●楽曲の魅力を伝える紹介文を書く。 ・ピアノ伴奏の特徴を捉え、どのような場面を想像するか、聴き取ったことをワークシートに記入する。 ・前時までの振り返りをし、イメージを膨らませながら一曲を通して鑑賞する。 ・楽曲の魅力を伝える紹介文を書く。 ・紹介文を発表する。	↓	◆ ワークシート 思	◆ 観察 ◆ ワークシート 態

8 本時の学習（2／3）

(1) 目標 登場人物の心情や物語の場面がどのように音楽で表されているか、音楽を形づくっている要素と関わらせて聴き取る。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点	◇評価規準 ◆評価方法
1 前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。	○作曲者や演奏形態などの確認をし、前時の学習を振り返らせる。	
登場人物の心情と音楽の特徴を関わらせて鑑賞しよう		
2 登場人物の心情と音楽の特徴を結び付けて鑑賞する。	○子と魔王の「強弱」「旋律」に着目し、それぞれの心情と音楽の特徴がどのように結び付いているか聴き取らせる。 ○タブレット端末を用いて、聴きたいところを何度も聴くことができるようにする。	◇「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ◆観察・ワークシート【知】
3 グループで意見を共有し、発表する。	○出てきた意見について、音源を流して確認させる。	
4 一曲を通して鑑賞する。	○子と魔王の「旋律」や「強弱」の変化に着目し、ワークシートに書いたことやグループでまとめた意見を確認しながら鑑賞するよう促す。	
5 本時のまとめとして、授業を振り返る。	○本時の学習を振り返り、ワークシートに学んだことを記入し、発表させる。	

(3) 評価及び指導（手立て）

〈知識〉

A 「十分満足できる」と判断される具体的な状況	「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりを理解し、「旋律」や「強弱」の特徴を捉え、ワークシートに具体的に意見を書いている。
B 「おおむね満足できる」と判断される状況を実現するための具体的な指導（手立て）	子と魔王の「旋律」や「強弱」の特徴について、他者の意見を聞いたり教師が問い掛けたりしながら、自分の意見に近いものをワークシートに書くことができるよう促す。